

Allied Health Sciences

北里大学 医療衛生学部

2015年5月1日発行(年2回発行)

— 第16号 —



〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号

TEL 042(778)8111(代) FAX 042(778)9628

<http://www.kitasato-u.ac.jp/ahs/>

発行責任者：学部長 北里 英郎

変わりゆく相模原キャンパス



写真：「記憶の継承」医学部同窓会誌より御好意により提供



私が初めて相模原キャンパス、北里大学病院を目にしたのは今から40年以上前になります。当時、病院と言えば遊園地のお化け屋敷「超・戦慄迷宮」そのものでしたが、農道のなれの果てに白亜の巨大なホテルのような病院を目にしました。当時、人気の「太陽にほえる」のロケにも登場しました。また今の新病院やA3号館のあたりには桜の綺麗なグラウンドがありました。しかし年をとるのはヒトだけではなく、このAHSが発行される頃には建て壊しも進んでいるでしょう。

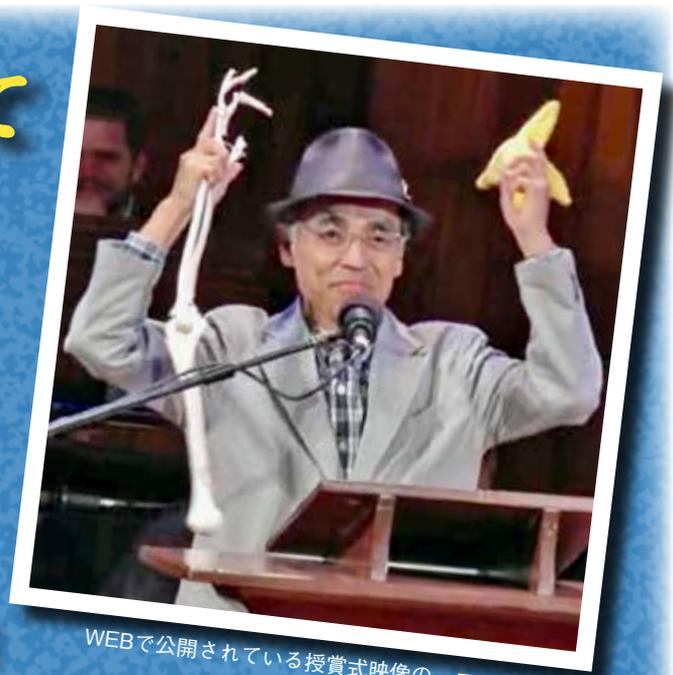
昨年新病院が開院しましたが、当初は使い勝手がわるく、見た目は屏風のようにだし、院内のコンピュータに慣れるのが精一杯で、診療や院内での教育業務は二の次でした。しかし次第にこんな素晴らしい病院はないと今では自慢しまくっています。オープンキャンパスに参加したJK達にもスタバを始め好評でした。「女房と畳は新しい方がよい」という諺がありますが、病院も新しい方がよいに決まっています。現在、臨床教育センターの工事も始まりました。40年後、変わり果てた姿の私が変わった相模原キャンパスを眺めたいものです。

視能矯正学 教授 石川 均

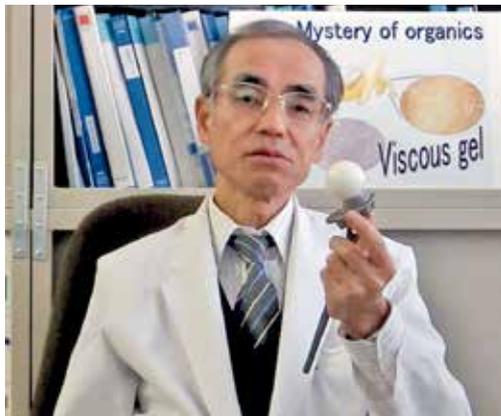
バナナの皮で滑って イグノーベル賞



臨床工学専攻生体工学 教授 馬淵 清資



WEBで公開されている授賞式映像の一コマ

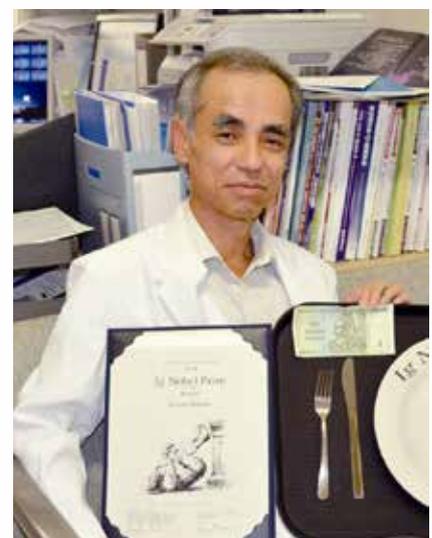


スウェーデンのテレビ局からの依頼で撮影した動画の一コマ

昨年9月に、イグノーベル賞という若干怪しいところのある賞を受賞しました。その後、メディアの取材記者さん達を始めとして、多くの方々から、「バナナの皮の滑りの研究は、何の役に立つのですか」という、当然ながら厳しい質問をいただきました。これに対して、バナナの皮が滑る仕組みは、人工関節のよりよい滑りを目指す過程で理論の構築に役立つと答えてまいりました。ただ、高齢で足が不自由な方が、優れた人工関節の開発を待ち望んでおられるという思いに直接お応えできないという、もどかしさも感じておりました。一方で、「科学は必ずしも実用

性を問わないので、研究テーマが面白ければ価値がある。その意味で、バナナの皮の滑りという日常のありふれたことからの中から、摩擦係数を測定するという新しい発見をしたことは、科学する姿勢として評価できる」という意見も多くいただきました。確かに、天文学で、アンドロメダ星雲が、二百万光年のかたあたりにあるという発見をするに、実用性はまずないけれど、科学としての評価は高いものがあります。

バナナの皮の摩擦が、そうした高尚な話の仲間入りができるとは思えませんけれど、面白さという点では何か共通の部分がありそうです。もともと、面白という言葉には、興味深いという意味と愉快であるという意味があります。そこに、我々の心は、共通概念を重ね



賞状、賞金 (1013 ZWD)、表彰楯

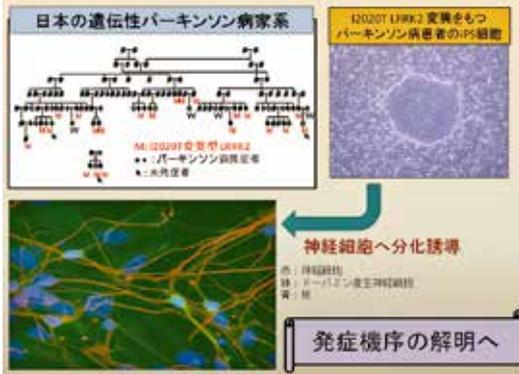
ているようです。ちなみに、イグノーベル賞の理念である、人々を笑わせそして考えさせると言うのは、この共通概念を表しているように思えます。

私は、世界の誰も測定していない数字を見出すことへの興奮に突き動かされて、バナナの皮の摩擦を測りました。その時、感じていたのがこの面白さでした。研究者自身が、本当に面白と感じていれば、多くの方の心を動かす可能性があります。そこに実用性があるとは限らないけれど、実用性に結びつける努力をすれば、それが実る場合もあるということのようです。科学には文化としての花が咲き、技術の成果が実を結ぶというこのようです。

若手研究者

iPS細胞を用いた パーキンソン病の発症機序解明

医療検査学科
免疫学
講師 太田 悦朗



iPS細胞を用いた研究の概要

このたび、自身の研究について紹介させていただきます。免疫学研究室の太田悦朗と申します。私は現在、iPS細胞を用いたパーキンソン病の研究を行っています。パーキンソン病は、アルツハイマー病に次いで2番目に多い神経変性疾患のひとつです。その中でも特に、患者さんの5〜10%を占める遺伝性パーキンソン病に焦点を当て、北里大学病院で発見された遺伝性パーキンソン病の患者さんから樹立した疾患特異的iPS細胞を神経細胞およびドーパミン産生神経細胞に分化誘導させて解析することで、発症機序の解明を目指しています。また、iPS細胞を樹立した患者さんの剖検脳について生化学的および病理学的解析を進め、樹立iPS細胞との比

較を行うことで、樹立iPS細胞が試験管内つまりin vitroのパーキンソン病の病態モデルとなりうることを証明し、さらなる臨床研究への応用を目指しています。現段階で、患者さんのiPS細胞由来神経細胞は、健常者に比べ、ドーパミン放出能の異常や酸化ストレスに対する脆弱性があることを見つけています。また、剖検脳とiPS細胞由来神経細胞においてアルツハイマー病や他の神経変性疾患に関連する分子のリン酸化亢進が認められており、現在詳細を解析中です。さらに近年開発されたゲノム編集技術を用いて、患者さんの遺伝子異常を修復したiPS細胞の樹立に成功し、さらなる病態解明と将来的な再生医療に向けた研究への展開を考えています。iPS細胞の利点は、2012年にノーベル医学生理学賞を受賞された山中伸弥先生が述べられているように、患者さんの体内の病態を再現することができ、さらには治療薬などのスクリーニングに有用であるということです。国内の多くの共同研究者と当研究室の卒業研究生の協力のもと、この研究を進めています。興味を持たれた学生さんおよびご教授いただける先生方の参加を心よりお待ちしております。

小笠原諸島は2011年に世界自然遺産に認定された自然豊かな群島で、現在、民間人が居住しているのは父島と母島だけです。村営診療所には医師と歯科医師が常駐している他、年数回、専門医による巡回診療が行われています。我々も医学部眼科とともに眼科巡回診療に携わり、春は学校検診、秋は白内障手術を行っています。昨秋の診療にも同行しましたので、すこしご紹介したいと思えます。父島(二見港)へは、東京港(竹芝棧橋)から貨客船(通称、おが丸)で南へ約1,000km、25時間半を要する船旅しか移動手段はありません。20年程前は生活運搬船で45時間、海況が悪い時は何日もかかり、水を口にするのさえ躊躇われるほど船酔いは限界を超えていたそうです。今回は海況に恵まれ、美しい夕日、満点の星空、夜が明けると透き通った濃く深い「ポニブルー」と呼ばれる紺碧の海が我々を迎えてくれました。今思い返せば、90年代、学校検診では視力1.0以上(俗に言う「目がいい」)の児童が多く、小児の眼科受診はほとんどありませんでした。しかし1996年小笠原村でテレビ地上波放送が開始されると同時に各家庭にテレビが普及、



東京都小笠原村の 眼科巡回診療について

視覚機能療法学専攻
生理光学
講師 伊藤美沙絵



子ども達の視環境は大きく変化し始めるとともに視力低下による小児の眼科受診が増えてきたことを実感します。このような環境的側面から視力の追跡調査をしており、別途ご報告したいと思えます。白内障手術においては、手術の度に顕微鏡を運搬して本土と変わらぬ手術体制が整えられてきました。そして2001年の秋に出会ったのが両眼の先天白内障を患った生後5か月の女兒でした。我々の帰路とともに本学へわたり白内障手術の後に弱視治療を開始しました。今年は中学3年生、両眼ともに矯正視力1.5を獲得しています。

このような巡回診療を経験すると、この日本でさえ医療が十分ではない地域があることを思い知らされます。ぜひこのような地域にも目を向けて活動していただけたらと思います。



診療所の皆さんと

基礎医学部門

Basic Medical Sciences

■基礎医学部門紹介

昨年度、解剖・組織学、生理学、病態生化学、医療情報学、薬理学の5つの単位から成る「基礎医学部門」が誕生しました。各専攻における特殊技術や専門知識に根本から習熟するには、医学を基礎から理解することが不可欠です。当部門は、分子レベルから情報システムまで様々な角度から生命科学の基盤を教育し、臨床現場において自ら思考し応用できる人材の育成を目指しています。

研究室紹介

新たに立ち上がった薬理学研究室 「学生と共にステップアップを目指して」

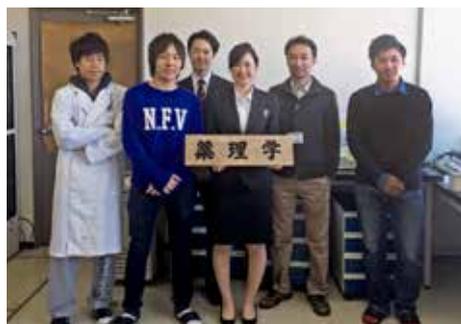
基礎医学部門 薬理学 准教授 小島 史章



基礎医学部門の設立と年度を同じくして平成26年度より新たに薬理学研究室をスタートし、薬理学教育と同時に研究環境の整備に奮闘して参りました。独立して自分の研究室を持つことは、研究を卒業にする者にとって念願であると同時に、研究人生において最も大きな変化でもあります。研究費や研究成果はすべて自己責任ということもあり、研究の自由と希望の代償として最初は多くの不安を抱えていたのも事実です。しかしながら、基礎医学部門をはじめとする本学の先生方ならびに事務職員の皆様の温かいサポートのおかげで歩みを進めてまいりました。

薬理学研究室の志す研究テーマは、炎症・自己免疫などと関連した未だ原因不明あるいは有効かつ安全な治療法の確立していない疾患に対して、その病態の根底にある分子機序を解明することにも、その理解に基づいた効果的かつ安全な新しい治療法を開発することです。この目標の達成を目指して、学生と共に、「見たい！」「知りたい！」といった知的好奇心を強く刺激されながら、研究を楽し

んでいきたいと思っています。本学卒業生のひとりとして、建学の精神「叡智と実践」にならない自己研鑽を積み、「不撓不屈」の精神をもって研究に対する困難に立ち向かい、「開拓」の精神をもって研究に取り組んでいきたいと思っています。そして、将来医療の現場でリーダーとして活躍できる人材と薬理学分野の研究・教育をリードする研究者・教育者の育成のために、「報恩」の精神を持って最大限の努力をし、私自身も学生と共にステップアップしていききたいと思っています。リニューアルオープンしたばかりの薬理学研究室をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



学生と薬理学研究室にて

卒業生紹介

大学で学ぶということ

北里大学 大学院 医療系研究科 修士課程1年 山下 博徳



研究室内の誕生日会の様子

私は平成26年に医療衛生学部医療検査学科を卒業後、北里大学大学院医療系研究科の修士課程に入學しました。私は趣味が食べ歩きというぐらい食べることが好きで、一方、緊張するとよくお腹を下すことから、体外、体内の影響により喜怒哀楽を表す消化器に興味を持ちました。セカンドブレインとも称される消化管では近年、発達障害である自閉症と腸内細菌の関連が示唆されるなど中枢神経系への新たな知見についても期待されています。そのような腸管神経系の機能が腸管にもたらす影響に興味を持ち、現在、市川尊文教授の下で「腸管神経(Leucine-rich

repeat Kinase 2 (LRRK2)) を介する腸管上皮細胞調節機構の解析」というテーマで研究活動に励んでいる最中です。卒業研究では2つの大きな学びを得ることが出来ました。一つ目は「自ら学びに行く」ということです。比較的新しい領域について研究していることもあり、研究報告も少ない中で、手探りしながら研究を進めてきました。しかし、自分一人だけでは限界があり、なかなか思うように研究が進まず、悩んでいました。そんな時も研究セミナーの機会を設けていただき、様々な研究室の先生方の助言をいただいたことで、有意義な研究活動が行えました。2つ目は「環境が成長を加速させる」ということです。北里大学には学生思いである先生方が数多くいらっしゃいます。所属する研究室の先生方だけでなく、他研究室の垣根を越えた諸先生方の熱意あるご指導によって、日々自分の成長を実感しました。この環境で学ぶことが出来たことに感謝し、少しでも諸先生方の期待に応えられるよう、今後も精一杯努力したい所存です。

■言語聴覚療法学専攻紹介

言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist, ST) は、病気や交通事故、発達上の問題などにより、ことばやコミュニケーション、聞こえ、飲み込みに障害がある方のリハビリテーションに携わる専門職です。医療・福祉・教育などさまざまな分野で他職種と連携しながら、豊かな生活が送れるよう支援しています。当専攻では、豊かな人間性と高度な専門性を備えたSTの養成を目指しています。

言語聴覚療法学

ST

Speech Therapy Course

専攻紹介

言語療法学研究室の紹介

リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻 助手 水戸 陽子



言語聴覚療法学専攻には、音声言語医学、聴覚療法学、言語療法学の3つの研究室があります。今回は言語療法学研究室の研究テーマをご紹介します。

私たちはことばによってお互いの気持ちや考えを伝え合い、経験や知識を共有して生活をしています。言語療法学では、言語と発話の本質とその障害に関する研究を主とし、正常者における声やことばの生成と知覚、発達について、その基本的特性と多様性の研究を推進するとともに、その病態の解明を進めることにより、人間の言語によるコミュニケーションの本質の理解と、障害に対する効果的な援助手段の開発が促進できると考えています。研究の主要なテーマは、①言語発達とその障害に関して、基礎と臨床を融合させた研究、高次脳機能研究の最先端の手法を用いた発達のモデルの提案や臨床・研究の両分野から切望される発達検査の開発、②音声や発音、流暢性等の発話の特徴と可変性について、基礎的および臨床的研究を生理学的、音響学的、音声知覚的手法を用いて実施することの2



脳の機能について意見を出し合う

点です。私自身は、学齢児における注意力の低下が認知能力、学習到達度に与える影響を検討し、学習のつまずきがある学童の正確なアセスメントと指導に活用することを目的として、研究を行っています。

医療、医学の進展やニーズの多様化、社会の高齢化にともない、言語聴覚士に寄せられる期待はますます大きくなっています。ことばによるコミュニケーションには、言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係しており、STには幅広い領域の最新の知識が求められます。研究と教育の側面から社会に貢献できるよう、これからも教員一同頑張っております。

活躍する卒業生

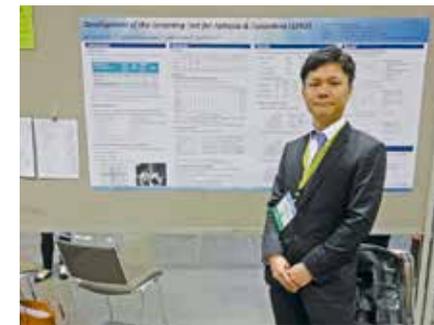
未来の言語聴覚士へ

創進会みつわ台総合病院 荒木 謙太郎



はじめまして。5期生の荒木謙太郎と申します。私の学生時代はというと、褒められるレポートを書く一方で、ギリギリで「可」をしがみついて取得するような、決して優等生とは言えない学生でした。加えて私は不器用で、当然卒後の臨床もすんなりとはいかず、とりわけ、脳損傷例の初診の対応、即ち失語症・構音障害・その他の高次脳機能障害の概要を把握することに大変苦慮していました。その経験と、他の言語聴覚士も同じように悩んでいるのではという思いから「言語障害スクリーニングテスト」の研究を志すようになりました。

開発過程は、研究の傍ら日頃の



世界 No.1 規模のASHA学会にて

臨床もあり、苦勞の連続でした。卒業後2年目に行った学会発表では「あなたにテストが作れる訳がない」と厳しい指摘を受けたこともあります。しかし、諦めずに続けてきた研究成果は「言語聴覚研究優秀論文賞」「脳機能とリハビリテーション研究優秀発表賞」を受賞、昨年には10年来の憧れの地、アメリカで学会発表を行うことができ、嬉しく思っております。

一人一人歩む道は異なりますが、あなたがリハビリ職に携わる折には、必ず苦しいことも逆境も挫折もあります。しかし「Trust Yourself」自分の道を信じて。あなたにしか出来ないことがある。それに対して真摯に向き合ってください。言語聴覚士という職業を通して見えてくる自分の本質はある。私は今後も、初診に悩む言語聴覚士と、その背景にある患者さんのお役に立てるよう努力を続けます。アメリカ・ヨーロッパ・アジアの国々に向けても検討を続けます。いつの日か、遅くなったあなた方とお会いできることを楽しみにしております。北里生として共に頑張ろう！

黒崎先生の お国自慢!!

医療検査学科臨床化学
助教 黒崎 祥史

〜浜松編〜

今号よりはじまりました新企画「〇〇先生のお国自慢」、記念すべき第1回は「浜松」。正直言うと、私の本当の故郷は浜松市のお隣に位置する湖西市というところですが、浜松出身と言ったほうがカッコいいから、つい…。

静岡県西部に位置する浜松市は人口79万人。県内では人口・面積

ともに第1位。徳川家康をはじめ多くの城主が出世していることから浜松城は「出世城」と呼ばれ、ゆるキャラ、出世大名家康くんが浜松を「出世の街」としてアピールしています。ホンダもスズキもヤマハも、この浜松から生まれたんですよ。ちなみにトヨタの創始者豊田佐吉が故郷・湖西市から生まれたことは、湖西市民唯一の自慢です！浜松市民を一言でいうと、とにかく「祭り好き」。半端じゃないです。祭りが終われば、翌年の祭りのために一年間働きま

ちや状況を理解してくれる人がいると、ほっとする状態に似ています。とはいえ、いちいち自分の感情に合った曲を用意するのは難しい。そこでおすすめがこの曲。自然の美しさを歌ったロマンチックな歌詞にとっしりした歌声が、楽しい気分の時にもちょっと疲れた時にもよく合います。私は学生時代からこの曲の虜で、勉強中や戸惑いの多い実習後に何度も聞いていました。



健康科学科精神保健学
講師 深瀬 裕子

『A Lover's Concerto』

サラ・ヴォーン

音楽と感情には『同質の原理』という理論があります。楽しい時には楽しい曲を、悲しい時には悲しい曲を聞くと快感情が得られやすいという考えです。自分の気持ち

皆さんも今の気持ちに合った一曲を見つけてみませんか？（怒りがおさまらない時にはディアナ・ダムラウが歌う「Queen of the Night Aria II」がおすすめです。これはぜひ動画で）

す。昼は風揚げ、夜はラッパを鳴らして街を練り歩くだけです。全国から150万人が押し寄せます。例年、ゴールデンウィークに開催されますので、その熱気をぜひ体感してみてください。癖になります。※浜松まつりのこと

浜松で最近徐々に注目されているパワースポットがあります。浜松市西区にある浜名湖・弁天島には、湖面に大きな赤い鳥居があります。近年、この大鳥居に沈む夕日が人気を博し、シーズン（冬至の前後1か月くらい）には連日多くのカメラマンが訪れます。さらに2015年11月21〜23日に「ゆるキャラグランプリ2015」がこの弁天島で開催されるとのこと！出世大名家康くんを応援しつつ、鳥居に沈む夕日を見るなんていかがでしょう。



最後に、よく新幹線や東名高速道に乗る人に「静岡って長すぎ！」と苦情を言われますが、よく考えてみてください。静岡県を二つ切ったとしても、東京ー大阪間の距離は変わりませんよ。

「そうだ！ご褒美にあのシュークリーム買って帰ろう！」そんな気持ちにさせてくれる絶品シュークリームが、北里大学のすぐ近くにあることをご存知ですか？北里大学東病院のすぐ裏、麻溝台方面に向かうバス通り沿いに、「農家の家」があります。黄色いヒヨコが赤い扉から覗いている可愛い看板が目印のお店は、養鶏場コトブキ園に隣接。つまり、産地直売のできたてシュークリームなのです！

相模原市 この店、この一品

農家の家
相模原市南区麻溝台2-9-20
『サプレシュー』



リハビリテーション学科作業療法学専攻
講師 高橋 香代子

贈り物にされる人もいるそうです。今回ご紹介するシュークリームには、「恵寿卵」がたっぷり使われていて、もっちりとしたカスタードは見事な黄身色です。たまたごそのままの味わいなので、決して甘過ぎず、甘いのが苦手な私の父も「これはうまい！」と絶賛するほど。写真はサプレシューですが、この他にも、焦がしキャラメルシュー、アーモンドシュー、ダブルシューなど種類も豊富で、つい目移りしてしまいます。さらに、季節限定シュークリームも登場するので、季節毎に立ち寄るのも楽しみのひとつです。通勤通学の帰り道に、ちょっと寄り道、いかがでしょうか？



オープンキャンパス・進学相談会開催予定



日	時	内 容	開催時間
平成27年 8月 1日 (土)		オープンキャンパス	10:00 ~ 16:00
平成27年 8月 2日 (日)		オープンキャンパス	10:00 ~ 16:00
平成27年 8月23日 (日)		オープンキャンパス	10:00 ~ 16:00
平成27年10月 4日 (日)		第1回進学相談会	10:00 ~ 16:00
平成27年11月 7日 (土)		北里祭、第2回進学相談会	10:00 ~ 16:00
平成27年11月 8日 (日)		北里祭、第2回進学相談会	10:00 ~ 16:00
平成28年 3月20日 (日)		オープンキャンパス	10:00 ~ 16:00

開催場所：相模原キャンパス ※事前申し込み不要です。
 入退場自由その他各首都圏でも随時地区別進学相談会を開催いたします。
 詳しくは<http://www.kitasato-u.ac.jp/nyuusi/soudankai/h27schedule.html>をご覧ください。

受験勉強・大学生活の話がじつじつとできず、セッティングが11月の相談会と学園祭が同日開催なので気分が盛り上がることも間違いなし。新情報も盛り沢山の3月、ここからが新年度の始まりです。どれも趣向を凝らした企画ですので全てに参加いただくのがベストです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

年間7回実施されているオープンキャンパス・進学相談会ですが、それぞれ特徴があることをご存じでしょうか。ここではその特徴をご紹介します。
 まずは充実の8月、来場者が最も多く各学部からとっておきの企画が出てくるので一番オープンキャンパスを実感することができま。次に個別相談の10月、在校生が相談員で参加するので受験勉強・大学生活の話がじつじつとできず、セッティングが11月の相談会と学園祭が同日開催なので気分が盛り上がることも間違いなし。新情報も盛り沢山の3月、ここからが新年度の始まりです。どれも趣向を凝らした企画ですので全てに参加いただくのがベストです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



医療衛生学部事務室学生課 入試広報担当 森 和雄

平成27年4月1日付で飯淵事務長の後任として医療衛生学部事務局長を拝命いたしました。平成2年の入職以降、医学部、医療系研究科、理学部と学部事務室での業務に携わってきており、医療系研究科在職時には医療衛生学部の先生方にも大変お世話になりました。今回の異動では私を含め、事務職員5人が新たに就任しており、最初は行き届かないところもあるかと思いますが、円滑な事務運営に努めていきたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。



「ごあいさつ」
 医療衛生学部事務室 事務局長 大野 貴司

2年半の短い期間ではありましたが、幾多の実践の中で、私自身も確かな成長を感じることができました。実に楽しく充実した日々でした。もちろん苦しく辛い時もありましたが、何よりも北里学部をはじめ、学部の先生方や事務室の皆さんの篤い叱咤激励に支えられ、何とか次の大野事務局長に伝統の轡を繋ぐことができました。
 この先も険しい道程は続きますが、皆さんの叡智をもって、力強く進まれることを祈念しております。ありがとうございます。



感謝
 元医療衛生学部事務室事務局長 人事部長 飯淵 哲

お悔み
 年明け早々に悲しい訃報が届きました。事務室の齊藤紀子さんが病氣療養中のところ去る一月二十日永眠されました。病魔と闘いながらも、いつも笑顔絶やさず、周囲の人たちを思いやり、優しく気遣い、仕事も一生懸命でした。その強さと優しさは全ての教職員に頑張る勇気を与えてくれました。世の中、実に理不尽で不平等なもの。誰もが慕い、敬い、憧れた齊藤さんを、こんなにも早く失うとは、本当に悲しくて、悔しくてなりません。
 「事務局長、今日も一日笑顔で頑張りましょう！」齊藤さんとの「いつも笑顔」の約束、これからも必ず守りますね。私の心の中にはいつも齊藤さんのきらきら輝いた最高の笑顔がありますので。
 (飯淵 哲)

歴史では事実とお芝居の虚構が混在し易い。所謂、忠臣蔵がそうである。歴史学会では赤穂事件といい、元禄14年3月に播磨赤穂藩主浅野内匠頭が吉良上野介をいきなり背後から切りつけた殺人未遂事件。忠臣蔵では吉良公が内匠頭をいじめたことを原因とするがそれは嘘である。幕府が内匠頭を切腹させたことは落ち度はないが、内匠頭の乱



健康科学科公衆衛生学 講師 伊与 亨

リレーコラム
 心で弟によるお家再興をさせなかったのは幕府の落ち度。それに怒った浪士達が罪なき吉良公を襲い殺した。恐ろしいテロである。そもそも内匠頭を殺したのは幕府であり逆恨み。吉良公殺害犯人は義士と賞賛され、吉良公は悪人に。忠臣蔵の上演は事件から約50年後。内匠頭は平和な元禄に城を作り領民に苦役を与えた暗愚の領主。吉良公は地元自身の名前が冠せられる名君。当時を知る人がいなくなる。善悪が逆転する虚構のお芝居が歴史になる。歴史問題云々といわれる今こそ、忠臣蔵の虚構には嫌悪感を覚える。

新任教授・新任教員紹介



診療放射線技術科学専攻 放射線科学
教授 長谷川 智之

平成26年7月1日付で放射線科学の教授に就任いたしました。北里大学とのご縁は、生まれてまもなくここから歩いてすぐの所に祖父が家を建てたころにまで溯ります。あぶないからそっちへ行っちゃダメよと諭されたことでしょうか。いまでは勤続20年の節目をこえ、すでに本専攻の最古参です。趣味は広く浅く、読書、勉強、音楽鑑賞、ピアノ、将棋、単車、車、鉄道、庭仕事などなど、学生時代のバレーボール部による刷り込みのおかげで体育会系の気もございませう。根は素粒子や原子核など目には見えない不思議の世界にひかれる純朴な物理屋です。サイエンスマインドを大切に、和而不同、道之以徳、克己復禮、なにより「魅力ある学びの場」であるよう微力ながら人事を尽くして参ります。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



基礎医学部門 解剖・組織学
教授 門 谷 裕 一

昨年7月に解剖・組織学の教授を拝命いたしました。名古屋大学大学院終了後、本学医学部解剖学教室で解剖学の教育と研究に携わる機会を得ました。その後2年間の海外留学（スウェーデン）をはさんで、平成20年に本学部に移り現在に至っております。この間、生物の「かたち」に魅了され、電子顕微鏡を初めとする様々な顕微鏡で組織や細胞を眺めて参りました。解剖・組織学研究室は従来の「解剖学」と「組織学」の2つが統合されて誕生した研究室で、全学科・専攻で解剖学、組織細胞学とそれぞれの実習を担当します。研究や実習の指導を通して学生の観察力や洞察力の涵養を図りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



診療放射線技術科学専攻 診療放射線技術学
教授 五 味 勉

平成27年4月1日付で診療放射線技術科学専攻 診療放射線技術学の教授を拝命いたしました。今まで培った臨床・教育・研究経験を活かし、医療衛生学部および診療放射線技術科学専攻の発展に微力ながら貢献していきたいと考えております。診療放射線技師の責務は日々進歩を遂げている医療機器に精通するだけでなく、患者様あるいは医療スタッフとのコミュニケーション能力も要求されます。このような背景から理論・技術の教授をはじめとして人間育成の指導を行い、卒後の臨床現場においても活用することができる教育を目標に日々精進して参る所存です。研究ではCTを含む新しい断層イメージング法の開発・検討に関して他学科・専攻間で共同研究を推進していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



基礎医学部門 解剖・組織学
准教授 小 畑 秀 一

平成27年3月1日付で、本学一般教育部から異動してまいりました。成体は非常に多くの細胞からなりますが、元は一個の細胞（受精卵）です。小学生の頃に見たカエルの形づくりの不思議にとり憑かれたまま今日まで来てしまいました。おそらく死ぬまでとり憑かれたままでしょう。脊椎動物の形づくりの要となる現象（原腸陥入と神経管形成）のしくみを明らかにしたいと考えています。両生類のイモリを研究に用いています。イモリは高い再生能力を持つ動物としても有名です。今後は、再生における形の修復のしくみの解明にも手を広げたいと考えています。教育と研究を通じて、とり憑かれる何かを学生諸君が見つける手伝いができるよう、微力ながら努力し続ける所存です。ご指導、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

AHS 16号をお届けします。本号より編集委員が交代になりました。旧委員の先生方は創刊よりAHSの編集にご協力頂き本当に有難うございました。さて本号より若手の意見が随所に盛り込まれていると思えます。以下、新委員からのメッセージです。「花には水を、学生には知恵を、教職員にはくつろぎをお届けします」深瀬裕子、「今年度よりAHSニュース編集委員を拝命いたしました。おもしろいスクープを探していますので、みなさんのタレコミをお待ちしています」黒崎祥史、「AHSニュースの新しい編集委員として、皆さんに最新の学部情報を発信できるように頑張りたいと思います」太田悦朗、「キャンパス近隣の知られざる絶品スイーツやB級グルメを紹介していきます！皆さんからのグルメ情報もお待ちしております」高橋香代子、「個性豊かなメンバーで情報盛り沢山のAHSが

- 編集委員会**
- 委員長 石川 均
- 委員 深瀬 裕子・黒崎 祥史
太田 悦朗・高橋香代子
伊藤美沙絵・川島 麗
保田 明夫・金子 清佳

完成しました。ネタ募集中です」伊藤美沙絵、「私たち学内ジャーナリストとして活動中です。カッコイイっぽく書いていますが、小学校でいうところの（新聞委員）・オタク化しないように頑張ります（笑）。皆さんの小ネタ、心よりお待ちしております。川島 麗。今後、AHSはさらに若い感覚で発行していきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。



新旧交代会